

広報 箕輪町のすがた

2010 No.38

“箕輪の今”を毎月お届けします。

今月は、木下北城地区の住民協力・参加で始まった「箕輪町生ごみ処理モデル事業」についてご紹介します。

次回の箕輪町のすがたは3月27日(土)掲載予定です。

大事な資源を捨てずにリサイクル ～環境にやさしい循環型の町をめざして～

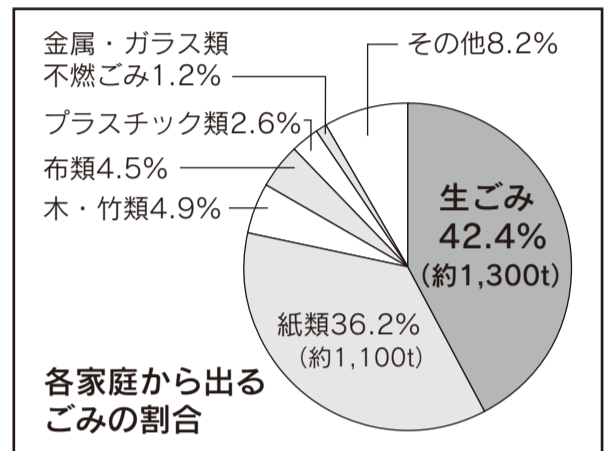
生ごみ処理モデル事業スタート

箕輪町の家から出る燃やせるごみの量は年間約3,300t(平成20年度調査による)。そのうち生ごみが約1,300tと約40%余りを占めています。町では、この生ごみを資源として活かし、堆肥化することで焼却するごみの量を減らし、循環型社会を目指すことを目的に「箕輪町生ごみ処理モデル事業」を、今月2日からスタートしました。

この事業は、地区住民の負担が少なく取り組みやすい、かつ継続可能な方式の一つとして、業者委託処理方式を導入し、検証してみようとするものです。

モデル地区は、住宅のそばに農地が少なく農地還元が困難、住宅が比較的密集している、ごみの収集効率が良いなどの観点から、木下北城地区を選定しました。

モデル事業は、木下区にご協力いただき、木下北城地区の皆さんのご理解ご協力を得て、意見や意向を取り入れながら、3年間を目安に進めていきます。



くるくるサイクルごみ循環

各家庭から生ごみの分別→ごみ収集ステーションへ出す
→業者による回収・堆肥化→各家庭へ堆肥の還元

モデル地区の住民の皆さんは、現在ご利用のごみ収集ステーションに、分別した各家庭からの生ごみを出します。これを生ごみの資源化処理業者が回収し堆肥化処理します。堆肥は地元へ還元し、必要な家庭での利用を考えています。



循環型社会の構築をめざして

生ごみ処理モデル事業にあたっては、まず実際に生ごみを分別するモデル地区のご家庭の協力が必要です。町では各家庭や地区の意向を把握し、より取り組みやすい事業を展開していけるよう、今後モデル地区の皆さんに定期的に経過などを示した「生ごみ処理モデル事業通信」を配布していく予定です。

町内では、すでに生ごみの農地還元や生ごみ処理器などで自家処理しているご家庭も多くありますが、こうした生ごみを分別し資源として再利用するという意識が、このモデル事業の取り組みによって定着し、ゆくゆくは生ごみリサイクルが全町に広がっていくことを期待しています。

また、燃やせるごみとして出されることの多い包装紙などの紙類の資源化を一層進めるなど、ごみの分別意識の向上を図り、ごみの減量化によるCO₂の削減により、環境にやさしい循環型社会の構築をめざしていきます。

お問合せ先 箕輪町役場 住民環境課 ☎0265-79-3111 (内線116)



町ホームページ
<http://www.town.minowa.nagano.jp/>

E-メールアドレス
minowa@town.minowa.nagano.jp

携帯電話用ホームページ
<http://www.town.minowa.nagano.jp/mobile/>

町からのお知らせや身近な話題など…
ぜひご覧ください。

- 「MINOWAもみじチャンネル」
 - ICT箕輪専用チャンネル(放送日/毎週月～金曜日(祝日除く))
 - アナログ29ch・デジタル512ch
 - ICT1チャンネル(放送日/毎週土～月曜日)

※この紙面に関するお問い合わせは
総務課 総務広報係まで
電話 0265-79-3111(内線107)
FAX 0265-79-0230
E-mail kouhou@town.minowa.nagano.jp